



1日、厚岸町別寒辺年川の力又1乗場に子犬が5匹捨てられていて、2匹を捕まえて家に連れ帰ったが、後2匹が残っていると町内の方から連絡がありました。主に浜中町を中心に活動をしている当会ですが、子犬1匹の姿が見えなくなっただけで死んだかもしれないと聞き、急ぎ保護に向かいました。

1匹の子犬はすぐに寄つて来てつかむことができましたが、もう1匹の子は警戒心が強いよう逃げまわってしまい、わが家の犬たちと一緒に日が暮れるまで探

しましたが、子犬の姿は見えなくなっていました。保護した子犬を連れていったんは家に戻りましたが、もう1匹の子犬のことが気になり夜にまた探しに行きましたが姿は無く…。寂しい山の中で1匹だけにな

る朝なら食べ物で子犬をつれるかもしれないと思つたそうでおやつを投げておびき寄せ、子犬が少し近づ寄つて来たところをつかまえてくれたそうです。

繰り返される子犬遺棄

保護の2匹、飼い主募集

つてしまい、どんなに心細くしているかと思うと、その夜はうつうつとして眠れませんでした。翌朝、預かりボランティアHさんが子犬を保護したとの電話があり心から安堵しました。Hさんはおなかを空かしてい

無く子犬の遺棄が繰り返されていて、以前にも当会に保護依頼の電話が何度もありました。子犬を捨てる前に不妊するなど、どうして対策をしてくれないのか、これまでに罪のない犬の命が失われているに違いありません。保護した子犬は白毛の男の子がベカン、なかなかつかむことができなかった黒毛の子はリリと名付けました。翌日にはすぐに馴れて人懐こく、飼い主さんを募集します。亡くなった子の分まで幸せになってほしいと願っています。

(福澤 智子)

ふくざわ・ともこ NPO
法人ドッグレスキューしおんの会